

2024年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	教育政策と社会(児童の権利)		教員氏名	横地厚	
科目ナンバー	II-4-6				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	幼免必修		実務経験	ソーシャルワーカー(社会福祉士)	16年
テーマ	教育・保育・福祉をめぐる動向と子どもの権利を理解する				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	子どもの生きる力を信じ、子どもの権利を尊重することは、これからの教育・保育・児童福祉の専門職にとって不可欠なものです。本科目は、「子どもの権利」に関する総合的な理解をはかるとともに、教育に関する社会的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)に関する基本的な知識を修得することを目的とします。授業担当者は、ソーシャルワーカー(社会福祉士)として、行政や社会福祉協議会に勤務していました。こうした経験から、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、講義や演習等を通して、子どもの権利擁護者としてのあるべき姿を、受講者の皆さん一人ひとりが考える機会をつくります。				
授業の到達目標	1. 子どもの権利擁護について説明できる。				
	2. 自らが権利擁護実践を担う者である自覚をもち、子どもの権利擁護者としての役割を説明できる。				
	3. 幼児教育における地域との連携及び実際について論じることができる。				
テキスト	プリント配布します。				
参考書	授業時に紹介します。				
ポートフォリオ	授業時に指示します。				
往還型授業(双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進めるなかで生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(Googleclassroomを含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する。				○
成績評価方法	その他:				
	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題参加度出席態度等	100	学習内容定着評価(レポート40%、確認テスト30%)、授業に臨む姿勢(30%)		
その他	0	0			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション、オレンジリボン運動	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第2回	テーマ 内容	子どもの権利擁護に関する専門機関と専門職(1)	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第3回	テーマ 内容	子どもの権利擁護に関する専門機関と専門職(2)	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第4回	テーマ 内容	子どもの権利保障	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第5回	テーマ 内容	子どもの権利条約	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第6回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践 地域との連携と実際(1)	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第7回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践 地域との連携と実際(2)	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第8回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践 地域との連携と実際(3)	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第9回	テーマ 内容	児童虐待の現状	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分

第10回	テーマ 内容	児童虐待への対応	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第11回	テーマ 内容	児童虐待の事例検討	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第12回	テーマ 内容	学習内容定着評価(確認テストと解説)	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第13回	テーマ 内容	総括、学習内容定着評価(課題レポート)	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分

課題に対するフィードバックの方法

・授業内および授業外学習に関する質問等は、授業時やGoogle classroom、オフィスアワー(別途掲示)にて対応する。

2024年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	教育政策と社会(児童の権利)		教員氏名	中安恒太	
科目ナンバー	II-4-6				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	幼免必修		実務経験	児童指導員・生活相談員(社会福祉士)	16年
テーマ	教育・保育・福祉をめぐる動向と子どもの権利を理解する				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	こども家庭庁創設の背景からも、これからの教育・保育・児童福祉の専門職に就く者として、子どもの意見等を尊重し、子どもの主体性を伸ばすマインド、ノウハウ、スキルの取得は必要となってきます。本科目は、児童の権利に関する条約等に基づいた「子どもの権利」に関する総合的な理解をはかるとともに、教育等に関する社会的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)に関する基本的な知識を修得することを目的としています。				
授業の到達目標	子どもアドボカシーについて説明できる。				
	児童の権利を護るための政策・手法について説明できる。				
	自らが権利擁護実践を担う者である自覚をもち、子どもの権利擁護者としての役割を説明できる。				
テキスト	なし(プリント配布)				
参考書	0				
ポートフォリオ	授業ワークシート及び課題レポート(google classroomにより提出)をポートフォリオに保存する。				
往還型授業(双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進めるなかで生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(Googleclassroomを含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する。				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題参加度 出席態度等	100	確認テスト70%+レポート提出(リアクションペーパー含む)15%、授業態度と意欲15%		
	その他	0	0		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	子どもの権利とは何か(こども家庭庁設立の背景等)	
	授業外学習	[事前学習]なし [事後学習]授業時に配布されたプリントの見直し・整理／学習内容(思考・表現)定着評価(課題レポート)の準備	210分
第2回	テーマ 内容	子どもの生活の変化・課題と子どもの権利	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第3回	テーマ 内容	幼児教育・保育・児童福祉専門職の役割	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第4回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(1)子どもアドボカシー	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第5回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(2)学校等における連携・協働	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第6回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(3)地域における連携・協働	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第7回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(4)子どもの権利とウエルビーイング	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第8回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(5)ゲストスピーカー	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第9回	テーマ 内容	子どもの権利と幼児教育・保育・福祉実践(6)子どもアドボカシーにおける注意点	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分

第10回	テーマ 内容	権利擁護に関わる保育士の専門性①これまでの学びで得た専門性とは何か	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第11回	テーマ 内容	権利擁護に関わる保育士の専門性②プレゼンテーション内容作成	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第12回	テーマ 内容	権利擁護に関わる保育士の専門性③プレゼンテーション	
	授業外学習	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第13回	テーマ 内容	これまでのまとめ	
	授業外学習	これまで学んだ内容を整理し、ノートにまとめる	210分

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内および授業外学習に関する質問等は、授業前後の時間及びオフィスアワーにて対応する。
- ・提出されたレポート等は、授業時及びGoogleクラスルームにてフィードバックを行う。